



令和3・4年度 役員

代表理事：大場義貴

副代表理事：加藤寛盛（事務局長）、高橋久美子

理事：佐々木正和、榛葉隆雄、平川悦子、山本隆広

監事：左右田雅子、落合克能

代表理事のご挨拶

2020年度は、コロナウィルスとの戦いに明け暮れた年でした。多くの会員の皆様にも大変なご苦勞があったのではないかとお察しします。コロナの影響で、E-JANの活動も様々な制約を受けました。また、スタッフや利用者、ご家族の皆さまも大変苦しい一年であったと思います。そのような中、何とか2020年度を終了しましたことを感謝申し上げます。

令和3年度の通常総会が6月5日に開催され、第1号議案、第2号議案ともに可決し、引き続き私が代表理事の任を務めることになりました。また、「令和3年度事業計画・予算について」報告致しました。当日は昨年同様コロナ禍での開催であり、Zoomでの実施となりました。来年こそは、皆さまと直接お会いして総会や諸活動ができることを祈っています。

最近の調査では、約20%がうつ状態であることが分かりました。また、自殺者も増加に転じ、特に若い女性や子どもの増加が目立っています。さらに出生率も従来の予測を下回って減っております。これらは、コロナ禍による経済的打撃や、孤独・孤立、ストレスや不安等による影響であると捉えられるのではないのでしょうか。

E-JANはサロン交流会や発達支援広場、障がい者の相談支援、ひきこもり相談支援、若者サポートステーション、そして自殺対策など、社会にある小さなニーズに耳を傾けて、そのニーズを拾い上げて事業を運営してきております。一見バラバラに異なった事業ではありますが、10数年掛けて、ライフステージに応じた、またライフステージを横断した地域での相談支援体制の確立を進めてまいりました。このことにより、地域社会に安心を、安心できる暮らしの実現に寄与してきたのではないかと考えております。

運営体制も、各部門の管理者（責任者）による運営ミーティングと理事会が、役割分担しながら、また協力しながら進める体制になり、この形を継続・発展させていきます。また、精神障がい者へ支援やひきこもり相談支援・ボランティアによる居場所の提供を継続し、社会の中で安心できるつながりの場や機会の確保に努めます。

一方で、主な収入が委託により成り立っており、その用途は限られております。事業の拡大に伴い管理費や諸経費の捻出には苦慮しています。また、職員の継続的な雇用が出来る財務体制への改革は、これから取り組まざるを得ない大きな課題です。認定NPOである強みをさらに社会にアピールし、クラウドファンディングのような形でさらに協力者を増やしていけたらと思っております。中長期計画を立て、一つ一つの課題を解決、実現させていくことで、E-JANの役割をさらに果たしていくことができるのではないかと思いますし、その基盤となる1年にしたいと考えております。今年度も、よろしくお願いいたします。



令和3年度第1回 茶話会 5月9日(日)13:30~15:00 曳馬協働センター

今年度第1回目の茶話会を開催しました。

茶話会と言っても感染対策のため飲食はしないで行っています。

曳馬協働センターを2部屋借りて密を避けて9人と8人に分かれて行いました。

今回初めて参加の方が5人いらっしゃいました。

親の立場の方、当事者の方、ボランティアの方、さまざまな方が集まりました。

今回は特にテーマは決めずに話しました。

お互いに病気があって、その悩みを共有したり、趣味の話で盛り上がったりしました。

茶話会の回数を多くしてほしいというご意見もあり、コロナが落ち着いたら、サロン活動も含めて開催できるといいなと思います。

毎回終わった後に話し足りない人がいるため、部屋は時間に余裕を持って借りています。

同じぐらいの年代の方が残って話をしている姿が見受けられました。(高橋)



令和3年度第2回 茶話会 7月11日(日)13:30~15:00 曳馬協働センター

303講座室(6人)

コロナ禍にあります今年度2回目の開催、集まって、顔を合わせて会話ができることに、ちょっとした喜びを感じました。

話題は、「暮らしの様子、ワクチンのこと、家族のこと、職場の様子、マスクのこと」、等々。それぞれの話題に、自身の体験、想い、質問、意見が交わされました。頷いたり、ちょっと驚いたり、皆さんの表情は、楽しそうでした。

会話の中で、ちょっと心揺さぶられたことがありました。職場でのことで、上手くいかない時、上司、同僚の心遣いが穏やかなんですね。厳しい指導を受けることもなく、いつものように接してくれるそうです。おそらく会社自体が、そのような文化を形成してきたのだろうと思われます。勤めていて、楽しく過ごせるなんて、なかなかあるものではありません。

そんなこんなで2時間が過ぎました。次回も、多くの皆さんに参加していただいて、様々な話題で、出来ればコロナ後の楽しみ等を話し合えればと思います。(山下)

302講座室(10人)

はじめに名前と「最近イラっとしたこと」をみなさん順番に発言しました。人それぞれで感じる「イラッ」や、一緒に怒れてくるような「イラッ」もありました。その後は悩み相談や「これどう思う」というようなとりとめのない話に時間が過ぎました。

- ・「職場でどうしてもいやな人」との付き合い方
- ・「星野君の二塁打」(小学校道徳教材)をどう思う
- ・若い人とのコミュニケーションのとり方
- ・長電話への対応

いろいろな意見があり参考になりました。お疲れさまでした。(大谷)



E-JANに実習生が来ていました！

E-JANで精神保健福祉士・社会福祉士資格の取得を目指した実習をさせていただき、多くのことを学びました。精神疾患を持っている方は、自分を理解すると同時に、周りに自分を理解してもらうことが大切だということを知りました。本人の話聞くだけでなく医療機関や行政などとの連携も必要であり、そのための相談支援について学ぶことができました。ぷらたなすのモニタリングに同行させていただき、利用者さんの状況や福祉サービスの利用について話を聞くことができました。

E-JANの居場所にも参加させていただきました。精神疾患を持っている方が話したいことを自由に発言できる場でした。病気の状態や過去の話などを、参加された方々が共感しながら聞いていました。居心地の良い空間、安心できる場が大切だと感じました。

こだまは、自分たちの好きなことをしながらゆったりと時間を過ごす場所でした。周りのサポートを受けながら、仲間とともに生活習慣の改善や対人関係の練習など、今の状況を変えるきっかけにチャレンジしていました。家庭訪問にも同行させていただきました。

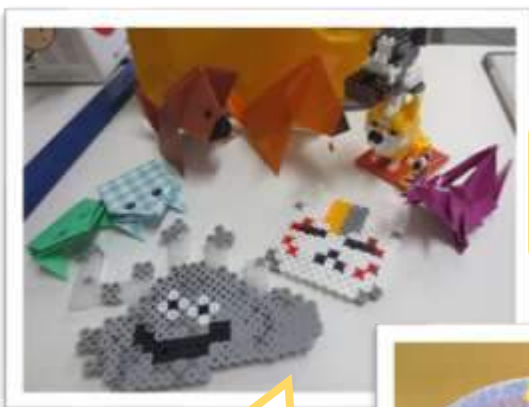
サポステは、就労に向けての多くのプログラムを行っていました。皆さん自分のペースでそれぞれ進めていました。プログラムを行うことで不安を減らし、自信をつけ、一歩前に進んでいるように思えました。サポステでのソーシャルワーカーの役割は資源開拓や環境整備だそうですが、福祉の知識、経験だけでは対応しきれないことがあるため、他職種との連携、役割分担などが重要になってくるということを教えていただきました。



どの事業所も利用者さんをよく理解したうえで、寄り添った支援を行っていることを知りました。実習で学んだことを将来に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。(赤堀)

ひきこもりサポートセンターこだま ギャラリー

～利用者さんがこれまでに作った作品を紹介します～



季節に合わせて
七夕やうちわ作り!

アイロンビーズや
ブロック・折り紙など
いろいろ使います。



地域若者サポートステーションはままつからのお知らせ

サポステはままつでは、不定期ですが企業説明会『お仕事セミナー』を開催しています。

お仕事セミナーは業務内容を詳しく知ることができることもそうですが、企業の担当の方から参加者が様々な疑問を直接聞くことができる場所です。入社に必要な準備や、入社後困った時にどうすればいいのか、将来どうなっていくのかなど、就活をしていく上で気になることをその場で聞くことができます。

マクドナルド(株式会社フロム東海) (令和3年6月23日)

社長・エリアマネージャー・店長が仕事の内容だけでなく、働き始める入口(面接)の所から丁寧に説明をしてくださいました。希望があれば見学や体験も行うことができ、業務内容に納得してから働き始めることができます。また、本人の希望の時間帯や日数で始めることもできるなど、多様な働き方が可能です。



株式会社オルトア(ソフトウェア開発設計、等)

株式会社Japanエアロインスペクション 通称:JAIC(航空機の部品加工、組み立て、検査、等) (令和3年7月12日)

オルトア様・JAIC様はグループ企業で、それぞれ社長・名古屋支店長が来てくれました。業務内容や待遇だけでなく、パソコンに興味がありプログラマーを目指したい方には、丁寧にどうすればいいのか、何を勉強すればいいのか、プログラマーを目指すにあたって必要なことを説明していただきました。パソコン関係に興味がある方には、とても参考になるセミナーでした。



サポステはままつでは『ジョブトレーニング』も行っています。ジョブトレーニングは、仕事の疑似体験を行い、今の自分の状態（体力・集中力・作業遂行能力・等）を知るためのプログラムです。

はまトレ 毎週火曜日13:15～15:30（4回1セット）

浜松葬儀株式会社さんにご協力をいただき、返礼品作りを行っています。



地域若者サポートステーションはままつ 浜松市中区中央 1-13-3 3F ☎053-453-8743

新入職員紹介

サポステに入った神谷礼子です。

4月まで田畑や海など自然に囲まれて仕事をしていたので、今いる街中の環境にソワソワしている日々です。そんな私が今はまっていることはマルシェ巡りです。美味しい食べ物や一点物の雑貨はもちろんですが、出店している方々の多様な生き方に触れられるところが魅力なのです。頼りない私ではありますが、『やわらかく、しなやかに』利用者の皆さまとかかわっていきたく思います。よろしくお願いいたします。

サポステに入った原田悠紀です。

今年3月に鹿児島から浜松へ、亀を連れて、車での大移動をして参りました。初めての土地でわからない事も多く、道には迷ってばかりですが、少しずつ馴染んでいけたらなあと思っております。美味しいご飯屋さんの情報がありましたら是非教えてください！少しでも利用者さんのお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

こだまに入った森島秀介です。

交流スペースのスタッフとして週2日来ることになりました。スポーツをずっとやってきたので、『うんどう』ではどんどん一緒に身体を動かしていきたいと思えます。

たくさんお話ができることを楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

こだまに入った二宮舞美です。

令和3年7月から交流スペースのスタッフとして勤務させていただいています。

ゲームや運動は好きですが、得意ではないのでいろいろ教えていただけると嬉しいです。

これからよろしくお願いいたします。



E-JAN 9月～12月の予定



月	日	内 容	時 間	場 所
9月	11日(土)	イエローレシート キャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店
	26日(日)	茶話会	13:30～ 15:00	曳馬協働センター
10月	11日(月)	イエローレシート キャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店
11月	11日(木)	イエローレシート キャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店
	未定(日)	茶話会	13:30～ 15:00	曳馬協働センター
12月	11日(土)	イエローレシート キャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店

・茶話会開催日はE-JAN ホームページで確認いただくか事務局へお問い合わせください。



事務局より



会費納入ありがとうございます

会員の皆さまには、早々に会費をお納めいただきありがとうございます。また、正会員からサポート会員への変更を数人の方からお申し出いただき、サポート会費(寄附金として扱わせていただきます)が増えありがたく思っています。認定NPO法人を継続するためには、1年間に3,000円以上の寄附者が100人以上いることが要件の一つとなっています。

本年度は5年毎に行われる認定NPO法人の更新年にあたります。皆さまのご支援に感謝しながら、これからも事業を着実に進めていきたいと思っております。



～編集後記～

- ・コロナの関係で思うように動けない日が続いています。今回の通信も絞り出すように記事を集めました。はあ～っ。(大谷)
- ・最近オリンピックやアニメの影響でバレーボールにはまり、ムシムシ暑い体育館でひたすらボールを追いかけていました。たまには体を動かすのもいいですね。(桜井)
- ・自宅の引っ越しが終わり「やれやれ」と思ったところですが、たくさんの住所変更(住民票、銀行、免許、Amazon、楽天、etc)に追われました。現代社会便利になったとは言え、便利になればなるほど手続きが増えていくんだなあ…と思いました。(佐藤)
- ・相談支援専門員になって丸6年が過ぎました。5年毎に受けなくてはいけない現任研修を、現在受講中です。課題に頭を悩ませております。(神谷)
- ・こだまでは、当事者グループや交流スペースで『うちわ作り』をしていました。白いうちわにシールや折り紙で飾り付けたり、好きな絵を描いたりしたものを見せてもらいました。楽しく作れて、さらに日常使いができるのは良いですね。(杉浦)